CS通信 しんとつかわ

コミュニティ・スクール

第２号　12月発行
新十津川町学校運営協議会
（教育委員会学校教育Ｇ）

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、コミュニティスクールの活動も対策を考えながら行う年になりました。「学校に何か協力したいけれど今年は難しいのかな？」と考えられた方もいたことと思います。今後もコロナ禍の状況を注視しながらですが、できることを模索していく状況です。町民の皆様には子どもたちが安全で楽しい学校活動を送ることができるようご協力をお願いいたします。

美しい通学路をつくる会

美しい通学路をつくる会は、文京区・中央区が合同で通学路の花壇の手入れ作業をしています。

今年はコロナ禍で、花植えは業者委託になりましたが、会の皆さんには、７月から10月にかけての草取り、お手入、片付け作業と通学路の美観に尽力していただきました。

昨年は、中学生の部活動の生徒と一緒に作業を行いました。コロナ禍が落ち着いた時には、また一緒に作業ができるように考えています。

玉ねぎ学習

小学３年生は、社会科「町の農業」で11月２日にオニオンファームカワマタさんの農業見学に行きました。玉ねぎを選別する機械などの設備を見学しました。12月３日には、川眞田さんに来校いただき、玉ねぎの種類や育て方の詳しい学習や種の観察、玉ねぎの皮むき体験を行いました。

講師　川眞田さんから･･･
子どもたちは、知りたいことがいっぱいで、沢山の聞きたいことを積極的に質問してくれました。その一生懸命な姿に感動し、私も刺激をもらいました。

新しい農業技術を子どもたちに知ってもらう

スマート農業技術見学

ドローン飛行見学

７月 13 日、ＪＡ青年部員の皆さんの協力で、小学生全学年で農薬散布用ドローンの飛行を見学しました。後木さんの田んぼで、後木さん、白石さんがドローンの操縦を行いました。農業高校の生徒の皆さんも一緒に見学し、JA 青年部の皆さんからドローンについての質問に答えていただきました。

働くこと～農業現場

講師　白石さんから･･･
農業は今、大きく変わりつつあります。今までのイメージではなく、子どもたちに興味を持ってもらえる仕事として伝えられたらと思います。子どもたちの目を見ていると更に頑張ろうという気持ちになりました。

７月 21 日、中学２年生の総合学習で、働くこと農業の現在と未来の姿をテーマに、町で取り組んでいる農林水産省「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」の実証農場の白石農園の白石さんから仕事をすることの難しさややりがいについてのお話をいただきました。

28 日には、白石農園さんで、ドローン飛行・ラジコン草刈機や無人トラクターなどの作業見学をしました。

先端技術の農業機械について説明を受けて機械が作業する様子を見学しました。

子どもたちの通学路を見守りいただきました

９月 23,24 日に青少年健全育成町民会議の活動で、「地域安全パトロール」として小学校通学路８ケ所で立哨を行い、子どもたちが安全に下校できるよう見守りいただきました。多くの団体の参加者が集まり、町全体で「子どもたちを守り育てよう」という実践目標のもと活動していただきました。ありがとうございました。

◆　冬のやまびこは中止になりました

夏の長期休業中の学習サポート事業「やまびこ」の中止に続き、冬の「やまびこ」も新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。ご協力していただいているボランティアの皆様には、来年度開催の折にはご協力をお願いいたします。

子ども相談支援センター「相談窓口」のお知らせ

ＣＳ通信の覧を利用して、児童生徒や保護者の方の相談電話のお知らせです。

児童生徒の悩みを聞いてほしいなどの相談、子育て・しつけに関する悩みなど相談ができます。

電話番号　0120-3882-56（無料・毎日 24 時間対応）